

つどう・気づく・ささえる・つなぐ
地域福祉情報誌



発行者／社会福祉法人千代田区社会福祉協議会
千代田区九段南1-6-10 かがやきプラザ4階
TEL:03-3265-1901 FAX:03-3265-1902
<https://www.chiyoda-cosw.jp/>

ちよだ社協 Chiyoda

no. 246
Summer
2025.7



社協HP



社協Instagram



社協YouTube

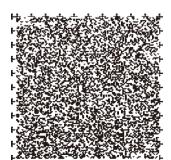
特集

はあとプランをひも解く シリーズ③～ささえる～



当会ふれあいサロン登録団体『就学準備教室 りりーふ』での活動の一コマ

千代田区社会福祉協議会とは住民の方々が主体となって行う地域福祉活動を支え、
地域の皆さまと力を合わせて千代田区の福祉をすすめる団体です



みんなが参加し、ささえ合うまちづくり
はあとプランを
ひも解く
4つの目標 第3弾

つどう 気づく ささえる つなぐ

はあとプランとは

ちよだに集う皆さんが安心して過ごせるような地域福祉活動を展開していくための基本方針です。住民と社協、行政の意見を取り入れて作成されました。



はあとプランについて
はあとプランについて
コチラから

その①「こどもひろば ながさんのおうち」山田 知尋さん

自身も地方から転居し千代田区で子育てをした経験から、子育てのちょっとしたことを話せる場所が必要だと感じ、ご家族の協力で「こどもひろば ながさんのおうち」を始めました。



※本会ふれあいサロン登録団体

ママたちがキラキラしているように見えた

子どもが幼稚園のころ、「子ども服はどこで買っているの?」「キャラ弁を作った方がいいのかな?」など疑問に思ったとき、周りのママ達がキラキラしているように見て聞くことができませんでした。役所での相談ではなく、ちょっとした情報交換が子育てには必要で、気軽に子育てのことを聞くことができる場がないと、子育ての孤独が深まってしまうと思いました。

子育てが“孤育て”にならないために

子育ては「理想のお母さん像」から離れると不安になり、「悪いお母さんに思われちゃう」と思うと相談できなくなります。役所とは違ってこどもひろばは構えずに話せる場所。関わるお母さんの表情が、次第に穏やかに変わっていくのがわかります。

「ながさんのおうち」
についての詳細はコチラから



その②「就学準備教室 りりーふ」村上 沙織さん

現在3人の子育て真っ最中。家族の協力を得ながら月に1度、就学準備のための幼稚教室や子ども向けのイベントを開催しています。



※本会ふれあいサロン登録団体



親も子も参加すること

お子さんの発達や集団生活への不安から、りりーふの幼稚教室に参加される方が多いです。授業後は親同士の座談会を実施していますので、子育てに対する悩みや不安の解消の場にもなっています。最近はお父さんの参加も増えていることが嬉しいです。お母さんのリフレッシュの時間にもなると思います。

地域のつながりを大切にしたい

りりーふは、今年で10年目となります。自分自身も教員ということからスキルアップとしても「居場所づくり」で地域と関わりを持ちたいと思い始めました。必要としている方に情報が届くようになり、年々需要が増えていると感じています。「地域の中で、助け合いながら子どもを育てていこう」という風土を作りたいです。

メッセージ

こどもひろばに出てこられる、情報を受け取れるお母さんはまだエネルギーがある方であり、外に意識が向いていますが、余裕がない方たちにどうアプローチしていくかが課題だと感じます。やはり地域の中で活動していくことの必要性を感じているので続けていきたいです。



社協職員より

「あのボランティアさんに会いたい!」私たち社協職員のもとには、こうした声がたくさん寄せられます。専門職でも家族でもない、他ならぬボランティアの方々だからこそ生み出せる、関わり、喜びが、ふれあいサロンには溢れています。地域から「困った」や「寂しい」をなくすために、ふれあいサロンの皆さんは、とても心強い存在です。



その③「ファミリー・サポート・センター支援会員」

ファミリー・サポート・センター（以下ファミサボ）は令和5年より準支援会員制度を設置し、学生も地域の子育てに活躍できる機会をつくっています。



S.Kさん 準支援会員

授業の空き時間を有意義に使いたいということがきっかけでした。活動を始めると、大学やプライベートとは違い、貴重な時間を過ごせると感じました。最初はお子さんよりも私の方が緊張していましたが、一緒に過ごす時間とともに自信が持てるようになりました。

粟屋さん

ファミサボは、地域の皆さんで支えられています。ご近所で両親以外の大人と関わることは、今の時代を生きる子どもたちにとって必要な経験だと思っています。仕事をしながら続けて5年目になりますが、「ありがとうございます」の言葉にやりがいを感じています。

羽田さん

普段、お父さんお母さんは忙しいので、私がファミサボの活動でお子さんのお話を聞いてあげるのは大切な役割であり、貴重な時間だと感じています。最初は慣れなかったお子さんがだんだん心を開いてくれるのが嬉しいです。

支援会員になるには?»

千代田区でファミサボの支援会員として活動するには、年4回開催している支援会員養成講座を受講し、子どものサポートに必要な知識を学びます。次回の養成講座は9月4日・11日・18日・25日の全4日間（木曜日）です。

詳細はコチラから



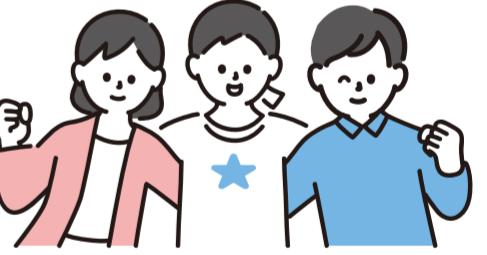
その④「地域学校協働活動コーディネーター」 谷 真理子さん・花輪 里香さん

お2人は25年の長い付き合い。「子ども110番プロジェクト」「ワーク・わく・クラブ」の設立、地域学校協働活動コーディネーター、ファミサボの支援会員の活動など、子どもたちのために様々な活動をしている。



こどもたちのためにできること

2000年に麹町小の近くで起きた発砲事件。子どもたちを守るためにどうしたらいいのかを考えるきっかけになり、麹町小PTAが立ち上げた「こども110番プロジェクト」が始まりました。2003年、土曜休業日の子どもの居場所について、保護者の願いもあり、麹町小PTA活動中に当時の校長先生から依頼を受け、ワーク・わく・クラブ応援団の活動が始まりました。コロナ前には「ぼうさい探検隊」をメインに活動してきました。



肩ひじ張らず、自然体で活動すること

程よく、自然体で活動することが長く続けるコツだと思います。大学生ボランティアにも支えられて地域のつながりの場としても必要性を感じています。

ワーク・わく・クラブ応援団 @麹町小»

大学生と一緒に地域を探検し、地域を素敵にするための「まちづくりイベント」を実施します。

社会的な孤立や制度の狭間でなかなか支援につながらない方、差別や排除の問題は行政や専門職だけでは解決できません。1人を支えるために、様々な方がつながることが必要です。活動への参加以外にも、変化に気づくことや見守り・声かけも「ささえ」ことにつながります。

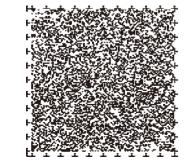


社協職員より

学習会のお知らせ

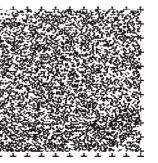
7/31木 13:00~15:00 「ちよだの子(孤)育てを考えよう」

上記の方たちが学習会にて活動のお話をしてください。詳細は裏面へ。



音声コードでバリアフリー化 ①

このマークは視覚に障がいをおもの方が使う音声コード（Uni-Voice）です。読み取り機能付き携帯電話などを用いて記録内容を読みとることができます。



学習会のお知らせ

寄付者(令和7年3月~5月)

あたたかいご寄付ありがとうございます。(敬称略)

日付	氏名・所属団体名	金額
3月 6日	大倉 英理子	3,000円
3月10日	山崎金属産業株式会社	1,000,000円
3月11日	ブルームバーグL.P.	363,000円
3月26日	サンフロンティア不動産株式会社	1,000,000円
3月31日	ソニー銀行株式会社	30,000円
3月31日	ジブラルタ生命保険株式会社	65,000円
3月31日	医療法人社団 伸陽会 神保町消化器科・内科	14,384円
3月31日	カルビー株式会社	34,235円
4月11日	東京丸の内・千代田ライオンズクラブ	200,000円
4月30日	深澤 由美	10,000円

日付	氏名・所属団体名	物品
3月13日	大和証券ファシリティーズ株式会社	株主優待物
4月 2日	安田不動産株式会社	防災備蓄品(食品)
4月10日	興産信用金庫 神保町支店	お米(2kg×9袋)
5月 8日	大和証券ファシリティーズ株式会社	株主優待物
5月27日	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	株主優待物

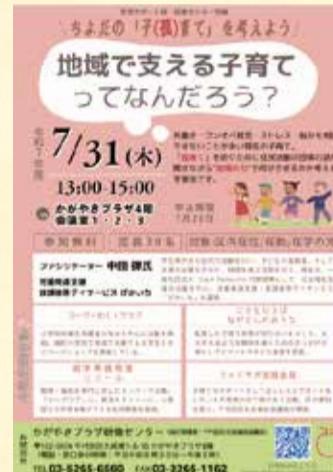
7/31木 13:00~15:00

「地域で支える子育てってなんだろう?」

～ちよだの子(弧)育てを考えよう～

会場:かがやきプラザ4階会議室(定員30名)

「孤育て」を防ぐために住民活動の団体の話をききながら
“地域の力”で何ができるのか考える学習会です。
本誌で紹介した団体にプラスして、
放課後等デイサービス「ぴかいち」の代表理事、
中田弾さんにファシリテーターとして
参加していただきます。



詳細とお申込みは
コチラから



お問合せ 千代田区社会福祉協議会

代表	〒102-0074 千代田区九段南1-6-10 かがやきプラザ4階 TEL:03-3265-1901 FAX:03-3265-1902 MAIL:info@chiyoda-cosw.jp 問合せ時間 8:30~17:00 月~金(年末年始・祝日除く)
アキバ分室	〒101-0021 千代田区外神田1-1-13 万世橋出張所・区民館6階 TEL:03-6285-2860 FAX:03-6285-2861 MAIL:akiba@chiyoda-cosw.jp



入居待機者 募集中!

(空室の都度、待機登録順に斡旋いたします。)

条件 ①60歳以上の方
②区内在住の方(例外規定あり)
③一定以下の世帯所得(487,000円)の方
斡旋可能な建物
・外神田、東神田、神田神保町、神田東松下町
(区内5棟83戸取扱い)

国土交通大臣免許(5)第6263号
株式会社パワーズアンリミテッド
〒162-0066 東京都新宿区市谷台町B-8

お問い合わせ・斡旋予約
03-3356-0808
(受付時間 平日 9:30~17:30)

“不動産を売るとき”って、どうしたらいいの? 専門家に学ぶ「不動産の上手な売り方無料個別講座」開催

7月13日(日)~7月31日(木)竹橋で開催! 参加無料・要予約
専門家が不動産売却のノウハウを伝授

日本では相続財産の約4割を占めるのが不動産だそう。いざ、相続が発生してから不動産を売却しようとしても、思い通りにいかなかつたり、時間がかかってしまうケースも。最近では、住む予定のない実家などの空き家や空き地の売却について悩んでいる人も多いそう。事前にできる準備で労力を軽減、早めの対策を考えておきたいものです。

そこで、三井住友トラストグループの「三井住友トラスト不動産」では、7月13日(日)~7月31日(木)の期間中に、不動産売買の悩みや不安を解決するための「不動産の上手な売り方無料個別講座」を竹橋駅すぐの駅チカ会場で開催します。

売買の基本から価格査定まで 将来を見据えた賢い不動産売却術

無料個別講座では、不動産売却の契約の流れ、進め方のポイントや注意点、売却にかかる諸経費など、不動産を売るときに事前に知っておきたい知識をわかりやすく解説。さまざまなケースを踏まえ、不動産売却の基礎からノウハウを伝授してくれます。

今や土地や建物の売却は土地活用の選択肢のひとつ。多くの不動産売

買に関わった専門家から、得する売却・損する売却を学んでみませんか?

不動産の売却について悩んでいる人や知識を得たい人は、この機会に参加を。不動産の無料価格査定の相談にも応じてくれます。

場 NMF竹橋ビル7階会議室

千代田区神田錦町3-11-1(三井住友トラスト不動産本社)

東京メトロ東西線「竹橋」駅3b出口徒歩3分

都営新宿線・東京メトロ半蔵門線・都営三田線

「神保町」駅A9出口徒歩5分

時 7月13日(日)~7月31日(木) 10:00~17:00

※希望日時の3日前までに申し込みを

※所在地により対応できない場合があります

定 各日・各回1組(水・祝定休)

申 0120-956-331

講座事務局(三井住友トラスト不動産東京マンションプレイス首都圏情報営業部内)10:00~17:00

※個人情報は受付と会場案内に利用



参加者には売買の流れがわかるガイドブックを進呈



NMF竹橋ビル7階会議室

音声コードでバリアフリー化 ③

音声コードは全国の行政機関の書類や病院の処方箋、金融機関、企業の情報文書などに採用されています。

